



2・3月号

発行所
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内
公益財団法人茨城県消防協会
編集発行人
消防協会長 葉梨 衛
印刷所
(有)堀口印刷
1部 15円
(購読料は負担金に含まれています)

消防職員意見発表会

茨城県消防長会主催の第四十二回全国消防職員意見発表茨城県大会が、平成三十一年二月十二日(火)に北茨城市民ふれあいセンターにおいて開催されました。県内各消防本部から一名が出場し、真摯で熱気あふれる発表会となりました。

《審査結果》

・最優秀賞

つくば市消防本部 杉浦 一

・優秀賞

鹿島地方消防本部 浅賀 隆哉

・優秀賞

筑西広域消防本部 廣瀬 稜

・優秀賞

土浦市消防本部 野口 絢大

・優秀賞

「命を繋ぐ通報システム」

最優秀賞の杉浦一さんは、四月二十四日(水)に甲府市で行われる第四十二回関東支部消防職員意見発表会に本県代表として出場する予定です。

ここに、最優秀賞の発表内容をご紹介します。

「よく見える化による情報の伝達」

つくば市消防本部 杉浦 一

「この目で見える情報をそのまま病院へ伝えたい」

今までの救急活動の中に、このように思ったことはありませんか？

救急隊員二年目の私は経験が浅く、先輩たちから比べるとスムーズな活動を行っているとはいえないかもしれせん。

ある救急現場での出来事でした。「トラックと普通乗用車の交通事故。普通乗用車の運転手一名が挟まれている。」一刻を争うことから、救出前に病院へ収容連絡と指示要請を行いました。

外傷において早期根本治療が生命予後を左右するのは言うまでもありません。病院搬送後、医師に事故現場の写真を見せ、状況を説明していると、「こんなひどく挟まれているなんて聞いていない、前もって連絡しろよ!」と叱責されました。「トラックと普通乗用車の交通事故、高度変形、一名挟まれ、ショック状態、

ロード&ゴー」事故の激しさを物語るワードはすべて使い、目で見たまを電話で伝えたつもりでした。

しかし、医師が想像したものと誤差が生まれてしまいました。自分が実力・経験ともに不足しているのは重々承知しています。しかし、目で見たまを言葉にして伝えるのは限界があるのではないのでしょうか？

皆さんも考えてみてください。『ドラえもん』を見たことがない人に、言葉だけの説明で『ドラえもん』を描いてもらうことは可能でしょうか？きつと描けないでしょう。「百聞は一見に如かず」ということわざがあるように、我々は聞くよりも目を見た方が確実な情報を得ることが出来るのです。

そこで私は提案します。目で見たリアルな情報を共有する、ライブ配信による連絡システムの確立を。そう、よく見える化です。スマートフォンやタブレット端末が普及し、アプリなどで容易に高画質の映像配信が可能となった現在では、その機能を活用することで、目で見たリアルな情報を映像として共有する事ができます。



最優秀賞を受賞した杉浦さん

準備が充実し、速やかに治療を開始することが出来ます。いち早く治療に専念することで、より多くの命を救うことが出来るようになるでしょう。

ライブ配信機能の活用は救急活動だけではなく、ほかの現場活動にも大いに活用が期待できます。映像による目で見たまの情報というのは、指揮隊や後着隊などの不特定多数に情報を伝えるだけでなく、現場での活動方針を決める重要な要因となります。特に地震などで複数の災害が同時発生した場合など、映像による情報共有は無線混乱を招かないため、より効果的であると言えます。

活動の指示を出す指揮隊と現場活動隊の情報の誤差は、活動方針に影響を及ぼし、現場活動を困難なものにしてしまいます。救うべき命を見逃さないために、目で見たリアルな情報の共有は、消防組織内においても大変有効であると言えるでしょう。

実際に映像を使用する際には、個人情報にも配慮しなければならず、簡単に実現できるとは思いません。明日から映像を使った病院連絡をすることは出来ないでしょう。

しかし、私はあきらめません。今後予想される幾多の災害から、大切な命、財産を守るため、従来の言葉による情報伝達だけに頼らず、実際に目で見える情報を共有する事ができれば、悲しむ人々が無くなると信じるからです。

私にはよく見えます。誰ひとりとも取り残さない将来の道筋が。

第36回 火災予防ポスターコンクール表彰式

小・中学生を対象とした火災予防ポスターコンクールの表彰式が、平成三十一年二月七日(木)県庁六階「災害対策本部室」で開催され、防災・危機管理部服部隆全部長から表彰状が授与されました。

このコンクールは、茨城県幼少年婦人防火委員会(会長・大井川知事)の主催で毎年行われ、十二月四日(火)に開催された「ポスターコンクール審査会」において、入選作品が決定しました。

応募総数五千四百点の中から県内各地域より推薦された百九十七点が審査会に掛けられ、厳正な審査の結果、次の三名が「最優秀賞」に決定しました。

(小学生低学年の部)

笠間市立笠間小学校

三年 柏原 麻央さん

(小学生高学年の部)

かすみがうら市立霞ヶ浦北小学校

六年 白井 碧玖さん

(中学生の部)

土浦市立新治学園義務教育学校

八年 水柿 蒼さん

なお、最優秀賞の中から、『水柿蒼』さんの作品が火災予防ポスターの「原画」に決定しました。



前列左から柏原麻央さん、白井碧玖さん、服部部長、水柿蒼さん

平成三十年 消防関係者叙勲 褒章等受章祝賀会

当協会主催の消防関係者叙勲・褒章等受章祝賀会が、平成三十一年二月十四日(木)に、水戸京成ホテルで開催され、受章者並びに消防関係者総勢七十名が出席し、先輩達のご功績を讃えました。

当日は、大変お忙しいところを出席頂いた大井川知事並びに川津県議会議長からご祝辞を頂戴し、その後、瑞宝双光章を受章された元守谷市消防団長の齋藤芳紀



祝賀会の様子



記念撮影

氏が、受章者を代表して謝辞を述べられました。祝宴は限られた時間ではありましたが、先輩方へのお祝いの言葉やお互いの近況などが語られ、終始和やかな雰囲気の中、ご歓談頂きました。

第71回 日本消防協会定例表彰式

平成三十年度の日本消防協会定例表彰式が、平成三十一年三月五日(火)ニッシーホールにおいて厳粛かつ盛大に挙行されました。式典は、厳かに日本消防協会旗の入場で幕を開け、国家斉唱、消防殉職者に対する黙祷、秋本会長の式辞と続き、各表彰の授与が行われました。本県関係の受章者は、次のとおりです。
※()は全国の受章者総数

○優良消防団(表彰旗) (三十九団)

・北茨城市消防団

○優良消防団(竿頭纒) (九十二団)

・古河市消防団

・下妻市消防団

・利根町消防団

○功績章(九百四十九名)

・大洗町消防団 団長 米川 不二夫 他二十七名

○精績章(二千二百六十六名)

・常陸大宮市消防団 副団長 藤田 佳史 他六十六名

○勤続章(七千三百三十三名)

・高萩市消防団 副団長 坂本 美智春 他百六十三名

○優良婦人消防隊員(十五名)

・山方女性消防隊 三次 雅子

表彰式終了後は「これからの日本消防と新日本消防会館」と題したシンポジウムが開催され、秋本敏文日本消防協会長がコーディネーターを務め、次の方々がパネリストとして参加し、さらなる充実強化やより良い新日本消防会館にするための意見交換が行われました。(敬称略)

パネリスト

- ・消防庁 次長 横田 真二
- ・日本消防協会副会長 沖山 仁
- ・東京都消防協会会長 高橋 淳
- ・前東京消防庁消防総監 古川 雅典
- ・岐阜県多治見市長 藤木 正幸
- ・熊本県御船町長 藤木 正幸
- ・兵庫県立大学大学院 室崎 益輝
- ・減災復興政策研究科長 室崎 益輝



平成三十一年二月十六日(土) 筑西市
玉戸のダイヤモンドホールにおいて県西
支部消防団長・女性消防団等合同研修会
が開催されました。

当日は、各団長、女性消防団員の他に
関係職員等九十九名が参加し開催されま
した。

研修会は、松本支部長(五霞町消防団
長)挨拶、当協会大高専務理事兼事務局
長挨拶の後に次の内容で開催されました。
(敬称略)

・「桜川市の防災対策と
女性消防団員の活動」について

講師 伊藤 好

桜川市防災課消防防災監 伊藤 好



阿見町女性消防団員による防火教育実演

・「女性の力を発揮して」

阿見町消防団 女性部

女性部 班 長 山本 みゆき

班 長 浅野 奉子

団 員 湯原 智子

団 員 中根 朋子

伊藤講師から、桜川市の防災対策とし
て取り組んでいる内容説明のほか、消防
団活動は、郷土愛の精神に基づいて行わ
れており、小中学生を対象とした防災教
育の必要性(消防団員はカッコいいと思
われることが大切)やマスコミを通じて
消防団活動が広報される有効性、自分た
ちで考え発展させていくことの大切さな
どの講演がされました。

阿見町消防団女性部からは、平成十六
年十月一日に女性部が結成されてから礼
式訓練・全国女性消防操法大会への出場・
応急手当講習会での指導・保育所等での
防火教育(危機管理を育てるアメリカの
防火教育をアレンジしたもの)・NPO
法人茨城県防災士会での資格取得など、
これまで行ってきた内容や現在実施して
いることの説明がありました。

また、保育所等において行っている防
火教育を会場にて実演し、研修会参加者
が一体となって行うなど、朗らかな雰囲
気の中で有意義な時間となりました。

平成30年度 消防団員基礎教育
女性消防団員講座

平成31年2月23日(土)に消防学校において、女性消防団員講座が
開催され、県内13の消防団から43名の参加がありました。

入校式では、飛田校長の挨拶に続き、消防学校の職員が紹介され
ました。

当日の講座は屋外で行われ、晴天でしたが風が強く、寒い日とな
りましたが、受講生は元気よく訓練に参加し、学校教官からの説明
に真剣に耳を傾けていました。



研修会出席者の防火教育への参加



ドローン操作体験

今回の講座では、昨年消防庁から無
償貸付されたドローンの操作体験が取
り入れられました。なお、当日の講座
内容は、次の通りです。

- ・訓練礼式
- ・ドローン操作体験
- ・器具操法
- ・(筒先・ホース取扱い、放水訓練)
- ・模擬火災消火訓練



訓練礼式



移動式濃煙熱気実火災訓練装置

移動式濃煙熱気 実火災訓練装置が 整備されました

消防学校に木材・パレット等を燃焼させ、実火災に近い濃煙と熱気の体験や消防訓練が可能な施設が整備されました。

施設の特徴としては、鋼鉄製のコンテナを利用して製作されており、密閉された空間内で、濃煙ゾーン(高温域約三百度)と可視ゾーン(低温域約六十度)の上下二層流を発生させ、ワンルームマンションなどの閉鎖空間を想定した実火災訓練ができます。

また、排煙は無害化し放出するよう設計されており、環境に配慮した施設になっています。

訓練に使用されるのは、新年度になってからですが、これまでは、消防大学校へ入校しなければ体験できなかった貴重な訓練が、身近な消防学校においても体験できるようになりますので、効果的な活用がされることを期待します。

消防個人年金について

日本消防協会の事業の一つ「消防個人年金」は、地域のためにがんばっている消防団員・消防職員の皆様のための制度です。資産の積み立てや税制上の優遇措置としてのご利用にもお勧めです。

ゆとりある老後のために加入しませんか。

○最長七十歳まで積み立てが可能な、公的年金の補完ができる制度です。

○積立金には、予定利率が配当されます。(予定利率は変動します)

○保険料は、月払、半年払、月払・半年払併用から選択でき、加入時や加入期間中にまとまった資金を一時払として払い込むこともできます。

○税法上の生命保険料控除の対象になります。

○退団・退職後も継続できます。

○途中で脱退しても積立金(脱退一時金)を受け取ることができます。

問合せ先

○新規加入・加入内容の変更

0120(658)494

日本消防協会年金共済部

○給付金の請求・積立金・試算等

0120(110)090

第一生命ドリーム年金室

コールセンター

受付時間(両問合せ先)

平日九時~十七時

編集後記

実火災に近い体験ができる訓練装置を拝見しました。僭越ながら、訓練でさえ危険なのは間違いないので、参加される方は、十分ご注意ください(一)



- 県防災情報ネットワークシステム
- 高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線

Orchestrating a brighter world



日本電気株式会社

茨城支店

〒310-0011 水戸市三の丸1-1-25(水戸駅前ビル)
TEL 029-226-1717 FAX 029-226-1685

オリジナルTシャツ
アポロキャップ
徽章類
消防グッズ各種

茨城県マスコット ハッスル黄門
ハッスル黄門ストラップ取扱店

水戸スポーツ株式会社

水戸市袴塚1-1-2

TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

Panasonic

- 自動火災報知設備
- 非常電源設備
- 自家発電設備
- CVCF設備
- FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店

株式会社入江電機工業所

- 本社 電話310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614(代表)
FAX.029-224-4613
- 千波営業所 電話310-0851 水戸市千波町海道付2027番地
TEL.029-241-3636(代表)
FAX.029-244-0540
- 土浦営業所 電話300-0061 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498(代表)
FAX.029-822-6575

トーハツ小型消防ポンプ



V75ESからV10Fまで
豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース
消火器 消防服装
消防資機材用品一式

茨城県代理店

トキワ産業株式会社

水戸市三の丸3丁目7番1号
TEL.029(224)3324代 FAX.029(224)3360

全国シェアNo.1の消防車メーカー
(株)モリタの各種消防自動車
常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目

小型動力消防ポンプ・消防用ホース
救助資機材・潜水機材・消防用被服
防災用品・消防用品・消防資機材



茨城県代理店
有限会社 鈴 機

〒315-0014 石岡市国府5-2-25
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846